

北川原公園ごみ搬入路
違法性解消に向けた検討会
第9回

令和6年11月23日（土）

本日の次第

1. 開会

(1) 本日の検討会について

2. 報告事項

(1) 市民会議について

(2) 社会実験について

(3) 意見募集結果について

(4) 都市計画変更の実施について

3. 議事

(1) 解消策の選定について

(2) 周辺環境改善の提案について

(3) 今後の予定について

(4) その他

4. 閉会

1-(1) 本日の検討会について

14:00 ～ 14:05 (5分)

1 開会

(1) 本日の検討会について

14:05 ～ 14:30 (25分)

2 (1) 市民会議について

(2) 社会実験について

(3) 意見募集結果について

(4) 都市計画変更の実施について

14:30 ～ 15:30 (60分)

3 (1) 解消策の選定について

15:30 ～ 15:50 (20分)

(2) 周辺環境改善の提案について

15:50 ～ 15:55 (5分)

(3) 今後の予定について

15:55 ～ 16:00 (5分)

(4) その他

16:00

4 閉会

2-(1) 市民会議について

市民会議 実施概要

【開催日時】

令和6年10月27日（土） 10:00～16:30

【開催場所】

20号バイパス高架下（北川原公園横）
東部会館 3階ホール

【参加者】 合計 55名

市民参加	27名
傍聴	12名
検討会委員	9名
周辺自治会代表	7名

【内容】

第1ラウンド：検討会から提起された二つの案を評価しよう！[北川原公園]
第2ラウンド：周辺環境整備のアイデアを出そう！
第3ラウンド：30年後の焼却場撤去を目指して

2-(1) 市民会議について

解消策①②案に対する評価

詳細は、市民会議ニュース(配布資料)を参照

●グループでの意見集計

①	搬入路の北側への集約立体化案が妥当である	3
②	現状の南北搬入路の残置活用案が妥当である	1
③	現時点ではどちらの案がよいか判断がつかない	2

●個人での意見集計

①	搬入路の北側への集約立体化案が妥当である	8
②	現状の南北搬入路の残置活用案が妥当である	11
③	現時点ではどちらの案がよいか判断がつかない	5
④	どちらの案も一長一短があり別の案を検討すべきである	2
⑤	その他	0

グループ単位では案①の集約立体化案が妥当だという意見が多かったが、個人としては、案②の残置活用案が妥当だという多い結果となった

2-(1) 市民会議について

周辺環境整備のアイデアについて

詳細は、市民会議ニュース(配布資料)を参照

●グループ発表のまとめ

① 開発するものではなく、今あるものを生かす

今あるものを知恵でうまく使いこなして財産にする

② この場所は学びの宝庫

自然と触れる中でいろんなことを学べる

③ ネットワークを結んで価値を高める

地域と地域、対岸とのつながり、上流と下流のつながり、市内と市外のつながり



People Meet Nature

自然豊かな環境で人々が集い・憩いの空間となる

2-(1) 市民会議について

30年後の焼却場撤去を目指して

詳細は、市民会議ニュース(配布資料)を参照

● 3市市長宛への手紙

<当日発表した日野市長あての手紙>

- ・ 3市の市長には大きな負担・負荷をかけている日野市の周辺住民のことをご理解をいただき、周辺住民のために出来得る行政サービスの提供を一緒に行っていただきたい。
- ・ 3市の共同化処理は誰が言い始めたのか知りたい。
- ・ ごみ処理は市の責任のもと行政が決めた方針で行われてきたが、一方で周辺住民へ多くの負担をかけてきている。多くの市民が自分の考えを持ち、ごみ減量に取り組んだり住環境改善の意見を交わしている。市民の有用な提案を市の事業に活かす体制を構築してほしい。
- ・ 日野市や国分寺市、小金井市に限らず、日野市で実施している「5R」を他の多摩地域に拡散し、多摩地域全体のごみ排出量を減量できるようにしてほしい
- ・ 百草園駅の北側に住んでいるが、ごみ焼却場の見えづらい煙は百草園駅から明星大学に向かって流れていくという話を聞いた。気流や気候は変えられない。小金井市・国分寺市のごみ焼却被害を、少し離れた地区も迷惑していることを再考していただきたい。



当日記載いただいた手紙については、国分寺市・小金井市にも共有予定

2-(1) 市民会議について

市長宛の手紙、参加した感想で解消策・周辺環境改善に関するもの

<解消策に関するもの> (10件)

①に賛成(2件)

- ・迷惑施設の環境改善という本来の趣旨からは案①が望ましいと思う。しかし、新しいルート近くに住む方々から不満が生じていることも理解した。
- ・公園を利用する市民の安全のためにも、案①は必ず実施してほしい。

②に賛成(4件)

- ・案①は新たな渋滞や交差点での事故リスクを高めるために選択すべきとは思えない。バイパスの南北を無理に一体運用しようとするのではなく、別の公園として活用するなど工夫すればよい。
- ・都市計画変更の見直しだけでよい。2市の搬入ルートが日野市内を通らなければ問題ない。
- ・なるべく既存の施設を活かして、新たな施設を作る話は出さないで欲しい。
- ・無駄なお金をかけなくてよい。

その他(4件)

- ・原告団や周辺地域への配慮は必要だが、安易なバラマキ的な対応はしないでほしい。
- ・一番は迷惑施設と呼ばれる焼却炉周辺住民の方々の声だそこを無視して進めてほしくない。
- ・決定前に案①、案②のみではなく見直しを含め再検証と地元の方々との意見を再確認して前へ進めてほしい。
- ・地域住民の方々にとって暮らしを脅かすような変更は感情的に受け入れられないというのが「デモをするぞ」という発言で衝撃とともに実感した。すべきことはやらなければいけないため、合理的な判断をしてほしい。

<周辺環境改善に関するもの> (4件)

- ・公園を利用する市民のためにも、北川原公園周辺の環境整備は必ず行ってほしい。
- ・環境を改善することは良いことなので、会議は続けてほしい。
- ・古い焼却炉の解体をしてほしい。
- ・実際に見て北川原公園周辺は良い場所なので、市民が利用できるような周辺整備を行ってほしい。

2-(2) 社会実験について

社会実験の実施概要

- 目的

北川原公園ごみ搬入路における北側集約化に伴うルート変更の影響を事前把握する

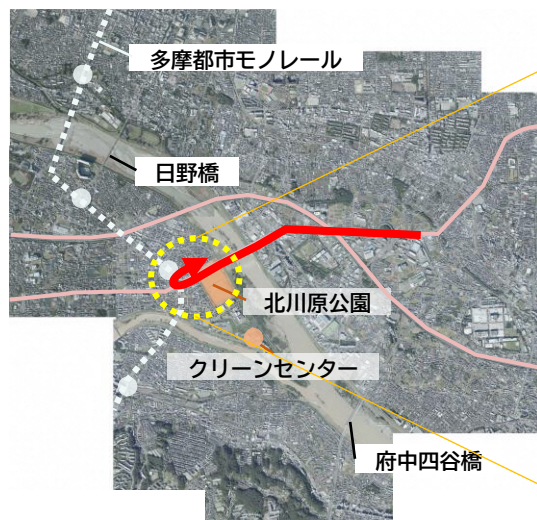
- 対象

国分寺市及び小金井市から浅川清流組合の可燃ごみ処理施設に搬入する
積載量3t以下すべてのごみ収集車両

- 期間

2024年10月21日（月）～10月25日（金）08:00～17:00

- 変更ルート



ごみ搬入車の通行状況、下り側右折車線の混雑状況、歩行者等への影響を把握

2-(2) 社会実験について

社会実験の結果まとめ

社会実験を実施した結果、以下の問題点が散見された

- ・通勤、通学等の駅利用者、買い物客、日野高校生徒など歩行者が多い交差点である
- ・Uターン中にモノレール側の信号が青に変わる場合があり、交差点内で歩行者の横断を待つ車が散見された
- ・右折レーンの滞留長が延びることで、直進車線にも影響が出る場合があった
- ・Uターンする車は大きく減速するため、右折する後続車の追突、接触が懸念される



交差点内に取り残される



右折レーンの滞留長が長くなる

Uターンは可能だが、横断する歩行者との接触や周辺を通行する車両との接触の危険性がある
➡日野万願寺駅前交差点でのUターンは不適當。
Uターンを行う場合は、上記危険性が低い箇所で行うべき

2-(2) 社会実験について

社会実験の結果（ごみ搬入業者へのヒアリング）

<周辺交通について>（6件）

- ・ 期間中は交通量が多くなかったが、年末年始や繁忙期は交通量が多くなり大変
- ・ 右折レーンにパッカー車ばかり並んで渋滞するため、苦情が来そうだ
- ・ 右折後 左車線で走行するが、いなげやへの侵入車両と動線が重複する頻度が高く、注意を要する。
- ・ 矢印信号のタイミングが微妙だと躊躇するが、後ろからのプレッシャーを感じる。

<歩行者との接触等 危険性について>（4件）

- ・ 4～5台目で右折信号待機となった際、転回中に右折信号が消え横断歩道手前で停止することがあった。歩行者が多いときは接触が生じることが懸念される。
- ・ 転回の際に、大きくステアリングを操作する必要があるため、車両間隔が詰まっていると接触される懸念がある。

<その他>（1件）

- ・ 片側に集約したことにより車両走行時間が増え、時間がかかる。

2-(3) 意見募集結果について

広報ひの特別号にて募集したご意見（全14件）

●①案(搬入路の北側への集約立体化)、②案(現状の南北搬入路の残置活用案)について（5件）

①案に賛成（1件）

- ・費用は掛かるが20号バイパス南側を公園として活用可能になる
- ・南北の自由な往来が可能になる
- ・交通誘導員の削減が可能

②案に賛成（2件）

- ・今から新たな構造物を整備するのは反対
- ・ルート変更は新たな紛争を招くおそれがある
- ・遮断機等の機械導入など工夫をすれば、もっと費用削減が可能になる

その他（2件）

- ・浅川ルートに集約
- ・新たな搬入路の整備（日野橋経由で川沿いの道を整備）

●周辺環境改善について（3件）

- ・公園の災害対策機能強化
- ・公園設備の充実
- ・万願寺グラウンド跡地 現状のままの公園化はしないで欲しい

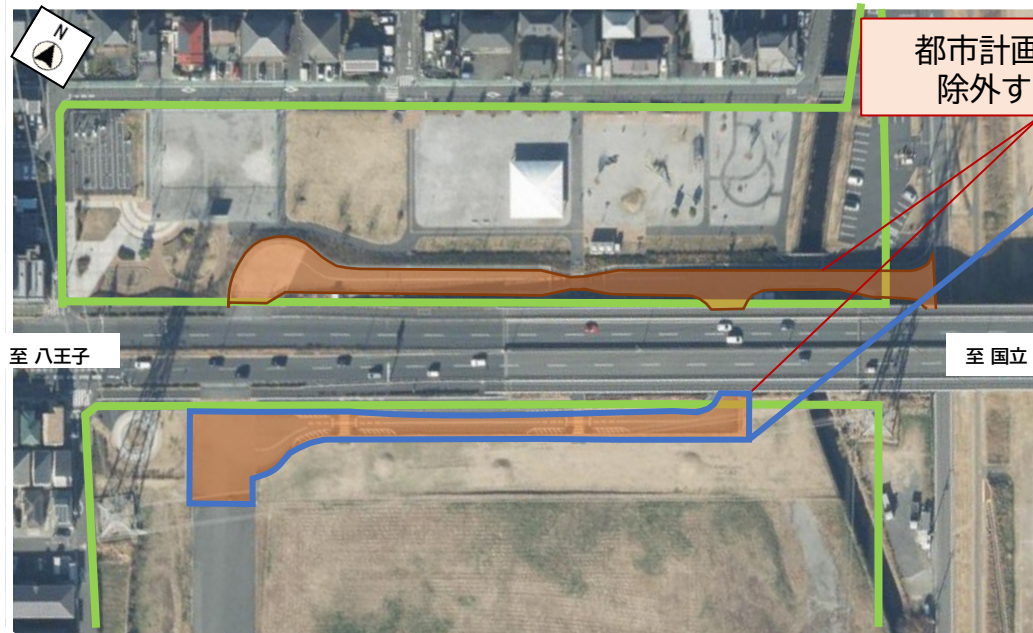
●その他（5件）

- ・工事に係る他2市の費用負担について(日野市だけが負担するような決定は避けてほしい)
- ・ごみ収集車の排ガス対策
- ・周辺地域の交通量の増加
- ・警備員の勤務態度の改善要望
- ・今までの日野市の行政運営に対する批判

2-(4) 都市計画変更について

都市計画変更の手続き

解消案①、②のどちらを選定した場合でも、当面、南北両側の搬入路を使用する必要がある
→ **南北の搬入路部分を都市計画公園区域から外す都市計画変更の手続きを開始する**



都市計画変更後、解消案①の場合は新規の施設整備完了後に再度都市計画変更を行い、南側の搬入路部分を都市計画公園に戻す

- ・ 広報ひの特別号にて意見募集
 - ・ 市民会議での討議
- 当面の違法性解消のための都市計画変更に対する反対意見等はなし
→ **都市計画変更の手続きを開始する**

【都市計画変更までのスケジュール案】

令和6年12月より事務手続きを開始

順調に行けば**令和7年5月をめぐりに都市計画審議会に諮問**

2-(4) 都市計画変更について

都市計画変更の手続き

北川原公園の都市計画変更を行うことにより、都市計画公園面積の減少が生じる
→ 減少分の補填を北川原公園の都市計画変更と合わせて実施する必要がある



・北川原公園の都市公園面積の減少分
約5,600m²

・万願寺グラウンド跡地（東側） 約6,000m²
※西側は東京都都市づくり公社所有地

- 北川原公園の都市計画変更と同時に公園面積減少分の補填が可能な場所
- 周辺自治会からも公園候補地として提案があった場所

→ 今後周辺地域の方々への説明等も行った上で、追加指定の手続きに入りたい

※周辺環境改善の提案について議論する中で、別途 公園・緑地にすべき場所の提案があれば周辺環境の議論の中で検討する

3-(4) 今後の取り組み

【市民向け説明会資料の抜粋】

② 違法性解消に向けた検討会

【内 容】

研究者や専門家を含めた会議体を設置し、市民参加、住民合意のもとに検討をすすめる。

【方 針】

- ① 早期に違法状態の解消を図ること
- ② 行政に対する信頼を回復する
- ③ 新たな住民同士の意見対立、紛争を招かない

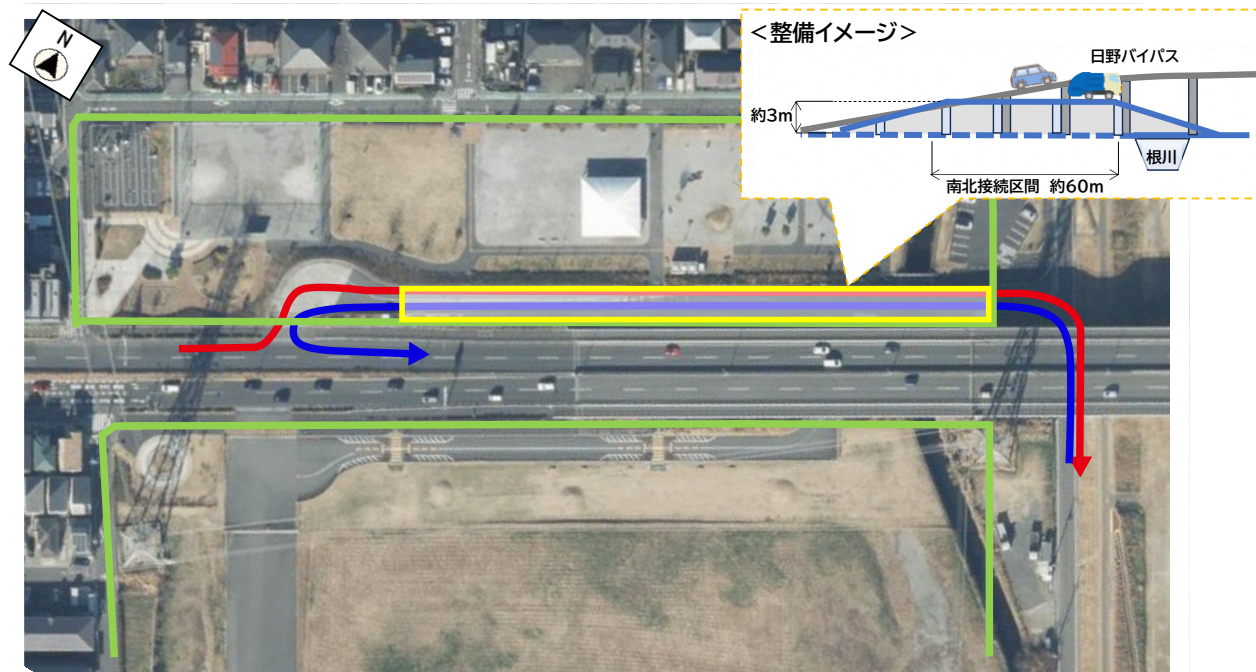
【方 法】

様々な方策を提案、検証し、技術面・財政面など総合的に解決策を導き、住民の合意形成を図る

3-(1) 解消策の選定について

各解消策の課題

①搬入路の北側への集約立体化案



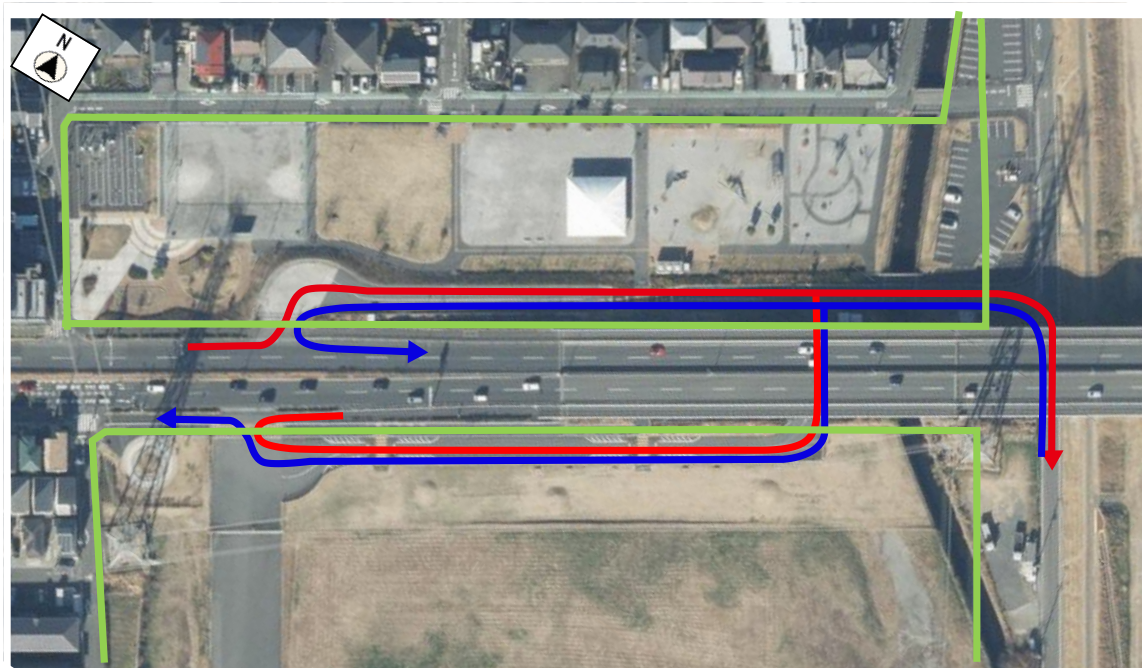
案①を最終選定する場合、以下の課題について市民に対しどのように理解を得るのか？

- ・搬入路を集約するために、2市(国分寺市・小金井市)の車が日野市内を走行すること
(安全面・渋滞面・環境面)
- ・公園の南北を繋げるための事業費(約6億円)としては高いこと
- ・南北をつなげる具体的な目的・理由がないこと(広場の利用者数等)

3-(1) 解消策の選定について

各解消策の課題

②現状の南北搬入路の残置活用案



案②を最終選定する場合、以下の課題について市民に対しどのように理解を得るのか？

- ・維持管理に約10.4億円(交通誘導員等)が必要なこと
- ・これまでどおり公園の南北で安全で自由な往来ができないこと
- ・歴史的背景を踏まえた、公園・広場面積の拡大が見込めないこと

3-(2) 周辺環境改善の提案について

市民会議での意見を反映したもの

北川原公園と河川敷エリア構想 ～People Meet Nature～

4つの基本方針

- ・自然共生をテーマにした活用でエリア価値を高める
- ・憩い学び体験できる環境とアクティビティを生み出す
- ・防災と安全安心機能を兼ね備えた公園整備を進める
- ・エリアの内外をむすぶ遊歩道ネットワークを作る

◇北川原公園の将来像

- ・公園の南北の一体的整備と回遊性向上を図る
- ・防災拠点や避難所を兼ねた整備を進める
- ・南側未利用地の魅力的活用を追求する
例：プレーパーク、水の遊び場、植物園、BBQ、キャンプ等
- ・公園内に樹木を植樹
- ・防災機能の拡充
- ・来訪者休憩スペースや屋内遊び場
- ・公園静音化のため、20号BP沿いに遮音壁等設置
- ・北川原公園の将来を見据えた全体活用策の検討

◇構想を進める際の配慮事項

- ・地域住民の生活環境維持
- ・河川氾濫等への安全性考慮
- ・他市の人に維持費を負担してもらう方策の検討

◇河川敷の活用

- ・川や河川敷の利用価値を高める
(例：自然散策路の整備、川遊び拠点、パークゴルフ場など)

◇浅川兩岸をつなぐ人道橋の設置

- ・北川原公園と百草園方面をつなぐ人道橋を実現する
- ・川から丘陵地までの地理的ネットワークを創出する

◇立地を活かしたアクティビティ創出

- ・広い空を活かす
- ・自然環境を活かす
- ・コミュニティの力を活かす

◇地域資源の活用

- ・落川交流センター建替
- ・旧日野療護園 跡地の取得、広場整備
- ・プラスチックごみも含めたごみ搬入路の多摩川ルートへの一本化と検量棟移設(旧可燃ごみ処理施設の撤去)
- ・焼却場の余熱を有効に利用する
(例：温泉施設、宿泊施設、図書館等)
- ・土方歳三関連の集客施設を検討する
- ・日野高校などの学校活動と連携する

◇川沿い遊歩道整備

- ・資源ごみ施設を多摩川側に移動して浅川沿いを遊歩道化する
- ・浅川と多摩川合流点をつないでエリアの回遊性を確保する
- ・浅川河川敷の魅力を上向きさせる
- ・散策、サイクリング、ランニングのルートを整備する
- ・プラスチックごみ収集車の浅川沿い利用の廃止
- ・浅川堤防道路を歩行者優先の遊歩道化

1979年 日野市が都市公園としての北川原公園計画を策定

3-(3) 今後の予定

今後のスケジュールについて

